

社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会

船橋二和病院 リハビリテーション科



リハビリ科 アピールポイント 1

1. 患者さんの心に寄り添うマインドと地域密着

2. 小児リハを提供しています

3. ウィメンズリハ・腎リハ・呼吸リハ・嚥下リハ実践

4. 臨床・教育・研究に取り組んでいます

5. ワークライフバランスを尊重しています

リハビリ科 アピールポイント 2

6. 1986年開設 37年の歴史があります

7. 急性期～生活期の入院リハ

8. 外来リハ 退院後のフォローも実践

9. 幅広い疾患への対応ができるようになります

10. 病気やケガを予防する働きかけの実践

船橋二和病院の紹介

船橋市の北部に位置します。

都会の喧騒を離れ落ち着いた雰囲気のある街です。

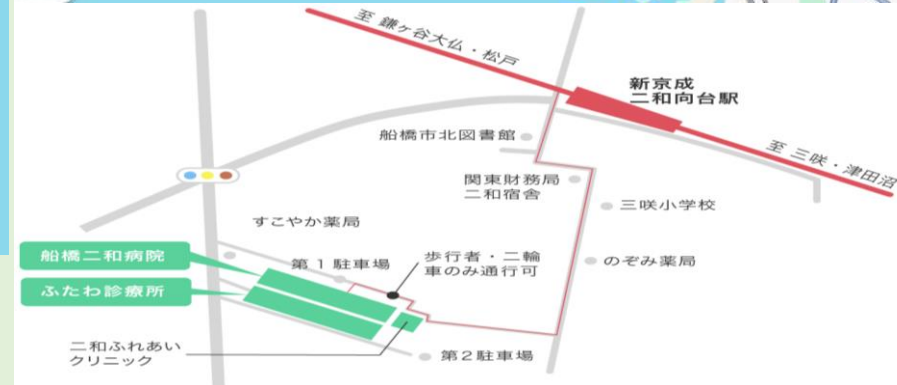
都内まで約1時間でアクセスできるため都内の研修にも参加しやすい位置です。

地域の皆様が必要として作られた病院として地域の方々へ貢献できるよう日々研鑽をつんでいます。

当院の位置



Googleマップより引用



沿革

1981年 開院、77床で開設（5月）

1982年 「保健課」開設、117床に増設

1986年 リハビリテーション科開設・脳卒中患者と発達障害児者のリハビリテーション

1987年～1995年 泌尿器科・ICU・産婦人科・外来透析・

眼科・心臓外科開設、207床

1996年 デイケア・在宅介護支援センター開設、270床に増設

2001年 病院外来部門を「ふたわ診療所」へ移行

2002年 厚生労働省・臨床指定病院に認定

「慢性血管合併症研究所」設立

2004年 透析センター50床に増設、臨床研修病院スタート

299床に増設

2005年 回復期リハビリテーション病棟認可 ISO9001認証

2006年 病院機能評価機構認証（2023年4回目認証）

2009年～2016年 療養病棟・無料低額診療事業開始・DPC報酬制度導入・地域包括ケア病棟開設

2017年 NPO法人卒後臨床研修評価機構認証

その他 **医療安全対策加算1・感染対策向上加算1・小児入院医療管理料4**

病院の理念と基本方針

理念

患者さまの権利を尊重し、共同して、安全で納得と満足のいく医療・介護をすすめます。

基本方針

- 1 患者さまの権利を尊重した、差別のない平等の医療・介護をすすめます。
- 2 安全・安心の医療・介護をすすめます。
- 3 患者さまの声を受け止め、満足のいく医療・介護を追求します。
- 4 総合性と専門性を持った医療・介護を追求します。
- 5 安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。
- 6 経営改善の活動をすすめます。
- 7 後継者対策の取り組みをすすめます。

診療科目 21の診療科

内科・循環器科・リハビリテーション科・外科・
整形外科・小児科・小児外科・産婦人科・透析科・
病理診断科・麻酔科・放射線科・消化器科・精神科
呼吸器科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科・
肛門科・心療内科

＊リハビリテーション科は赤文字の診療科との関りが特に強い

連携型総合医療介護 船橋二和病院グループ

二和ふれあいクリニック

保健・予防医療

船橋二和
病院

地域共同・
地域貢献

外来医療・
在宅医療

船橋二和病院附属ふたわ診療所
ふたわ訪問看護ステーション

介護支援

- ・ 船橋二和病院デイケア
- ・ ケアプラン二和かけはし
- ・ 八木ケ谷在宅介護支援センター、ケアプラン八木ケ谷
- ・ 二和在宅介護支援センター、ケアプランふたわ
- ・ ヘルパーステーションなのはな

- ・ 健康友の会
- ・ NPO健康友の会なのはな
- ・ 患者会

赤字の事業所にPT配置

友の会とは地域の住民が主体となっている組織

患者会は当院通院中や退院後の患者主体の組織

船橋二和病院 リハビリテーション科

- 開 設：1981年 リハビリ科は1986年からスタート
- 病床数：299床
- 対応病期：急性期・回復期・地域包括ケア・生活期（療養/外来）
- 対応業務：入院部門と外来部門
- リハ施設基準：脳血管,廃用,運動器,呼吸器,心大血管 全て基準Ⅰ

地域に密着した医療

附属関連施設に
診療所・デイケア
訪問看護ステーション
急性期から生活期に
かけての連携を強化

小児から高齢者まで

成人・小児の外来リハビリテーションも提供
発達系認定療法士1名

呼吸リハビリも強化

呼吸療法認定士4名
重症心身障害児や
一般小児科へも介入

食べることを諦めない

リハ医を中心に嚥下介入
を積極的に実施
「完全側臥位法」による
早期経口摂取獲得を目指
した取り組み

リハビリテーション科 概況

スタッフ数 PT 31名 OT10名 ST5名 計46名

*セラピスト以外：事務1名、助手1名

平均年齢 32.7歳 (20代 20名、30代 19名、40代 7名、50代 1名)

男女数 男性 13名 女性 33名

時短利用者 5名

スタッフ1人あたりの治療人数 約10人/日 (担当病棟で変動あり)

スタッフ1日あたりの目標単位 平均16単位/月 (担当業務等により設定あり)

残業時間 平均5～6時間 (ノー残業にも取り組んでいます)

有給取得率 92% (次年度繰り越し分の取得率実績)

定着率 94% (2023年度実績)

◇業務

入院部門 と 外来部門

*兼任するスタッフが2割

◇目標単位

役職者 5～14単位

時短利用者 14単位

一般 16単位

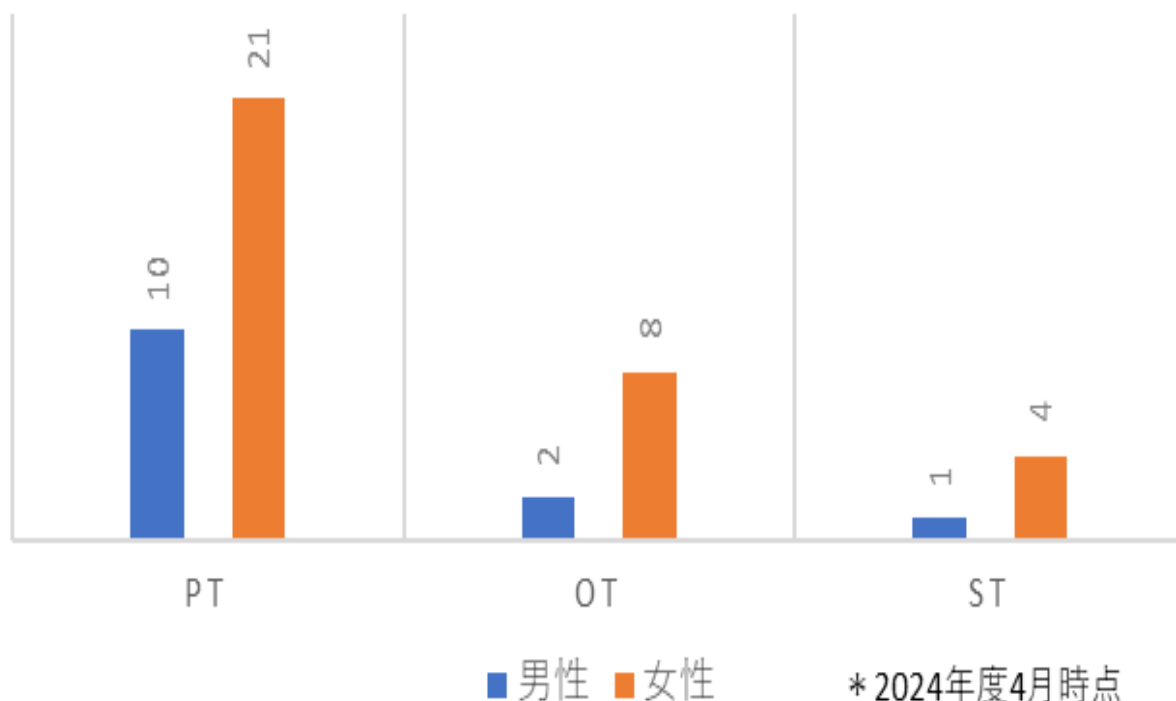
◇就業時間

就業時間 8:45～16:55

休憩時間 60分

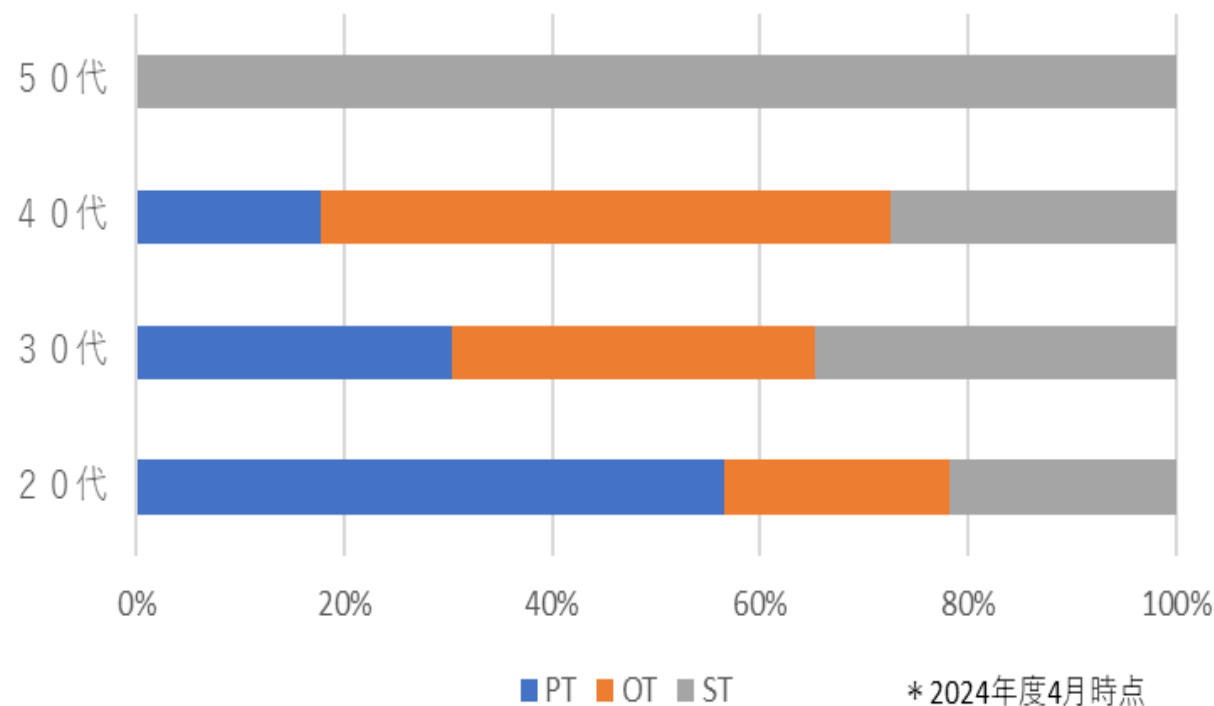
リハビリテーション科 スタッフ内訳

職種別男女比 * 単位：人



PT・OT・ST 共に 女性の数が多い

年齢層の割合



PTは20代が多いピラミッド型
OTは40代が多い逆ピラミッド型
STはつぼ型

スタッフの育成

育成方針

即戦力を目指したスタッフ育成を行う
責任を伴う自由を実行できる人材育成を行う
患者さまファーストのマインドを育成する

育成方法

- 研修要綱に沿う
- 新人研修 ➡ 卒後1年から3年目のスタッフ
- 中堅研修 ➡ 4年目以降のスタッフ
- 役職者研修 ➡ 役職者(技士長・副技士長・主任)
- 中途採用者研修 ➡ 中途採用者プログラム活用(未経験分野を主とする)
- 復帰者研修 ➡ 復帰日にオリエンテーション実施

新人研修 1年の流れ (イメージ)



4月

- ・院内オリエンテーション
- ・配属後研修・基礎学習会
- ・病棟ローテーション（～5月）
- ・申し送り対応開始

5月

- ・移乗介助技術研修
- ・卒1 土曜日慣らし開始
- ・患者様担当開始
- ・申し送り対応開始

6月

- ・病棟配属
- ・症例発表
- ・呼吸リハ研修①

7月

- ・卒1 日曜日慣らし開始
- ・呼吸リハ研修②
- ・卒3大発表会

8月

- ・卒1 日曜出勤開始
- ・リスク管理学習会
- ・卒2症例発表

9月

- ・卒1 家屋評価実施

10月

- ・卒1 院内業務自立* 専門職スキル研修

*自立とは・・・適切なタイミングで連絡・相談がことです。

11月

- ・卒1 症例発表

12月

- ・卒2症例発表

1月

2月

- ・卒1、3合同発表

3月

4月・5月は
臨床実習3期目
のイメージ
(臨床研修)

その他、年間を通して

①定例学習会（毎月2回）

②感染学習

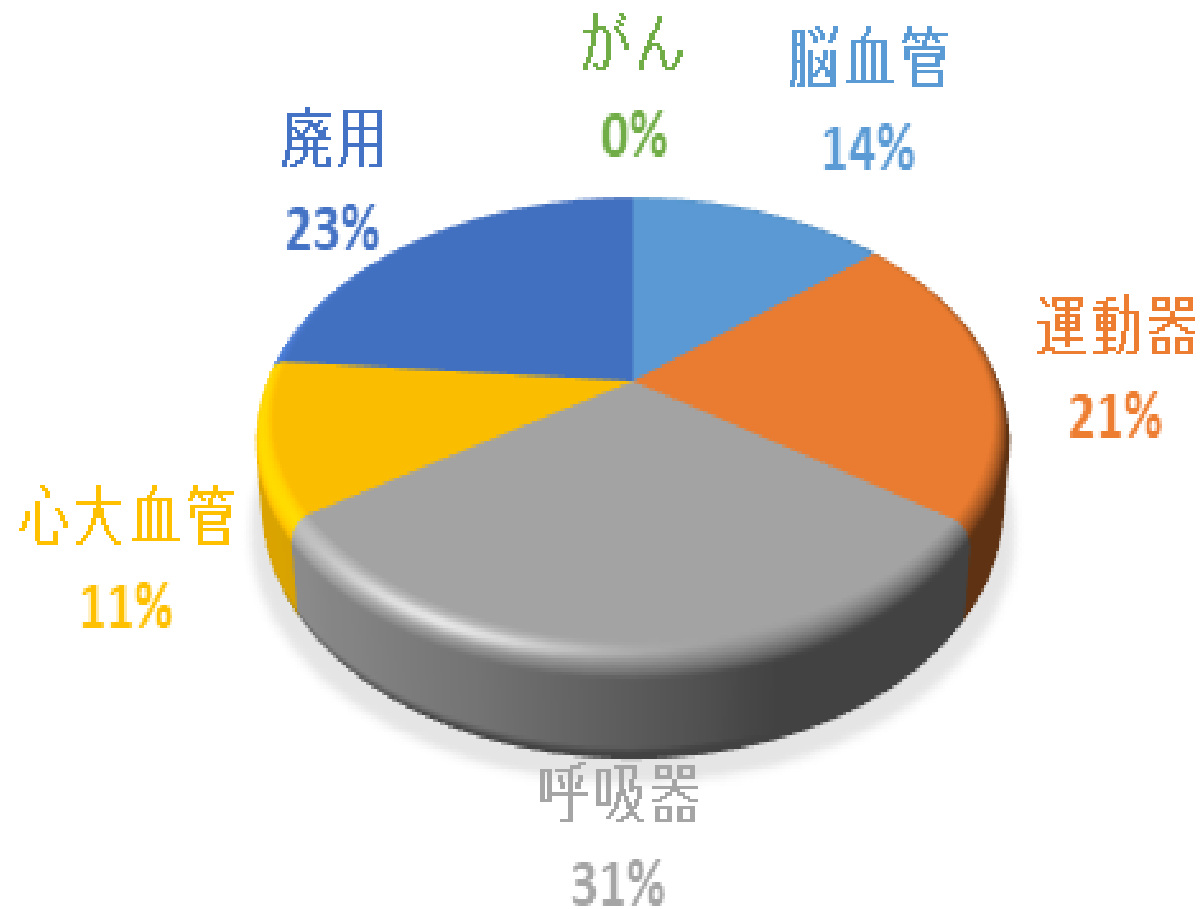
③リスク管理学習

④外部研修伝達講習

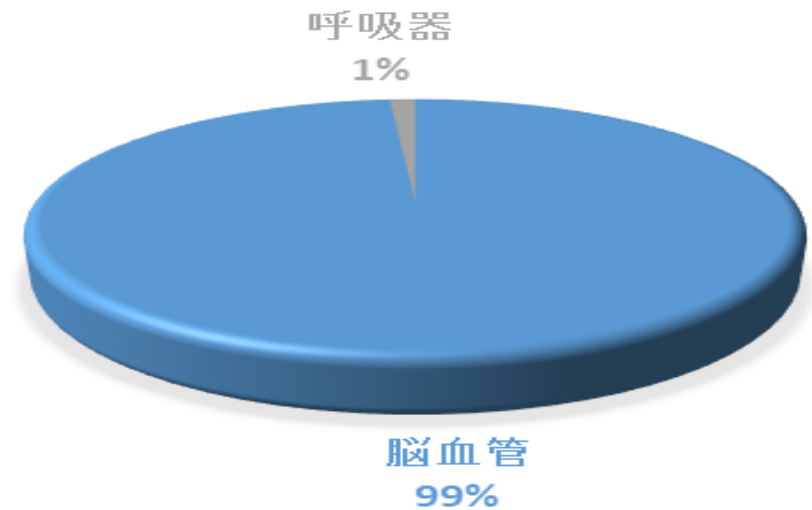
など、学習機会を随時
設けています。

リハビリ対象者・疾患

2023年度 疾患別リハ(入院)



2023年度 外来(小児)

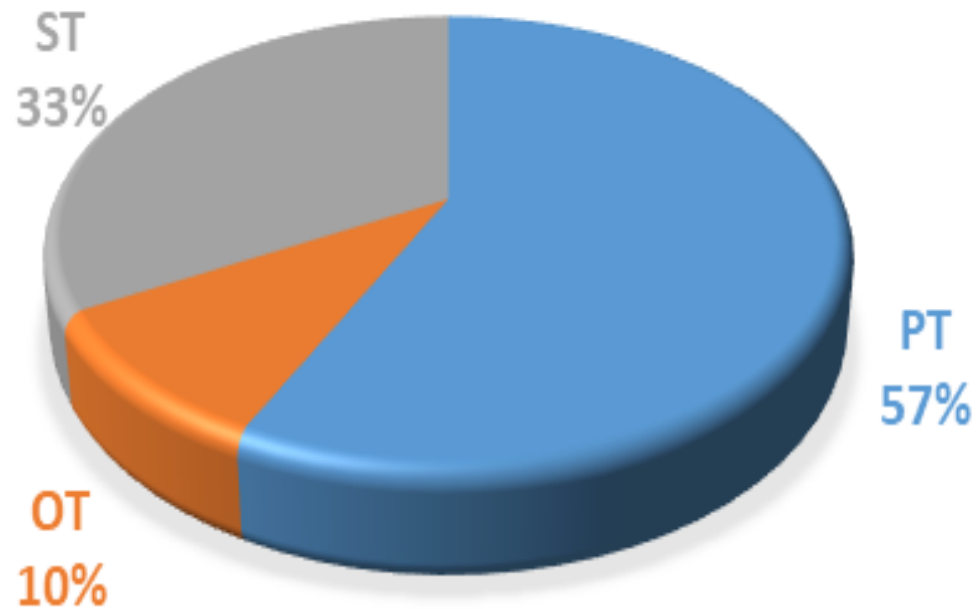


2023年度 外来(成人)

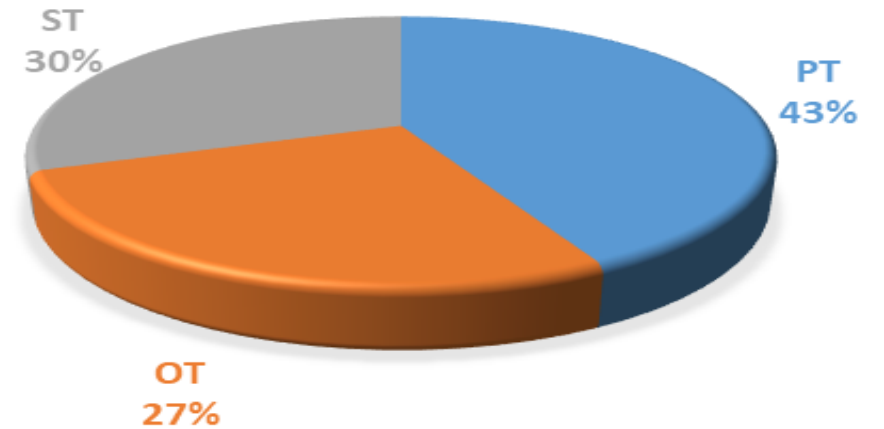


リハビリ対象者 外来

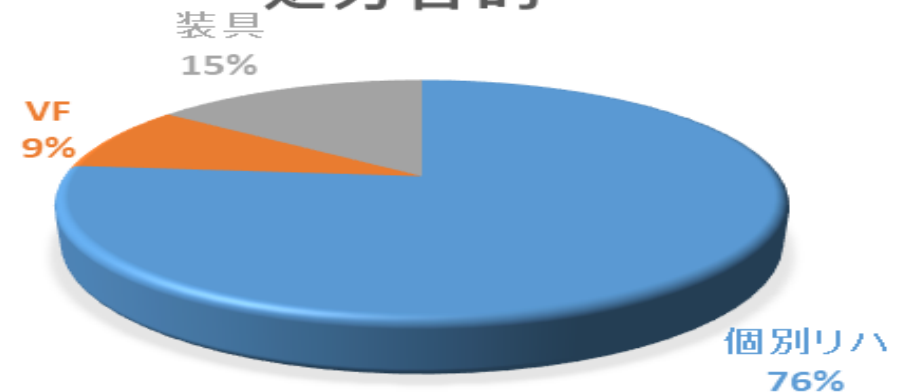
2023年度 外来小児療法別 新患処方の内訳



2023年度 外来成人療法別 新患処方の内訳



2023年度 外来成人 処方目的



リハビリテーション科 組織図

管理部

リハビリテーション科技士長 (1)

リハビリテーション科副技士長 (2)
(入院部門担当・外来部門担当)

急性期
主任

2 階中央病棟
内科・循環器
4 階病棟
整形外科・外
科・小児科

地域包括ケア
主任

3 階中央病棟
地域包括ケア

回復期
主任

2 階西病棟
回復期リハ病棟

生活期
主任

1 階西病棟
療養型病棟
病院外来リハ
脳血管・
発達障害児・者
診療所外来リハ
運動器疾患

各専門領域の特徴

PT

- ・ BTX後介入・ニューロリハビリ・呼吸リハ・透析中の運動療法・ウィメンズリハ
- ・ 環境整備（多職種協働）・補装具対応（成人・小児）・地域連携（学校訪問等）

OT

- ・ 【成人】 麻痺手（CI療法・BTX後介入）嚥下リハ、高次脳機能障害への介入、就労支援など
- ・ 【小児】 上肢機能の向上、協調運動（不器用）の向上、視知覚の向上、ADLなど作業遂行への介入、コミュニケーション/摂食嚥下機能の獲得、座位保持装置や車いすの選定、学校と連携

ST

- ・ 【成人】 摂食嚥下障害の評価と治療と指導、高次脳機能障害の介入、運転支援（教習所と連携）等
- ・ 【小児】 コミュニケーション指導、摂食嚥下機能の獲得・指導、学習困難に対する指導・助言 等

多職種連携 チーム医療

小児リハ チーム

- ・ 脳性まひ児・者，重症心身障害児，発達障害児に対するリハの提供．地域連携，在宅酸素療法の定期的フォロー，嚥下評価・指導．
- ・ 構成：Dr，PT，OT，ST，心理

嚥下チーム

- ・ 嚥下評価（VFやVE）を中心に実施．
- ・ 患者様の食事会の企画，嚥下食を検討する．
- ・ 構成：Dr，PT，OT，ST，栄養科，調理師

呼吸チーム

- ・ 重症心身障害児に対するNPPV導入と定期フォロー入院を担当．
- ・ 人工呼吸器に関わる．
- ・ 構成：Dr，PT，Nrs

リハビリ室 PT室



小児スペース

リハビリ室
OT室
ST室

OT室



ST室



入院リハ業務

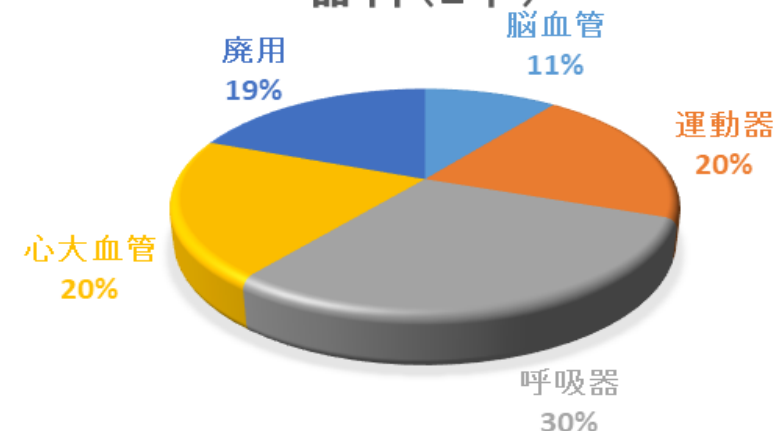
各期(各病棟)の連携強化をテーマに取り組みを開始しています。

各期にリーダーを配置。各期を取りまとめるリーダーと主任も配置しています。

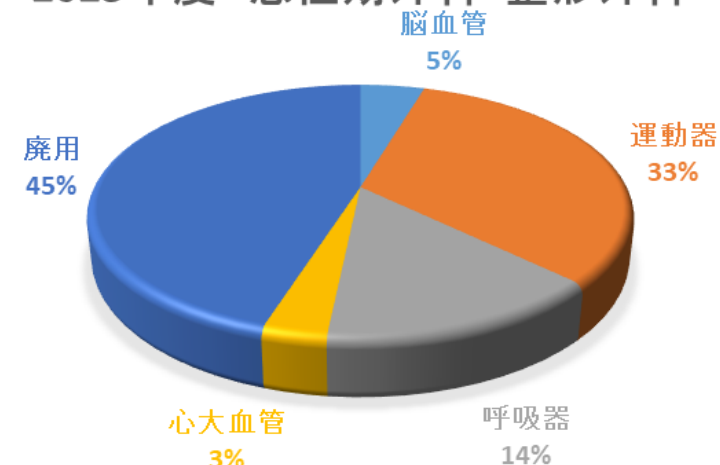
急性期病棟

	担当数		対象疾患	特徴	患者数
	専任	外来兼任			
2F 内科 HCU	5名	－	心疾患 呼吸器疾患 脳血管疾患	・ I C U あり。 ・ 人工呼吸器の患者も多い。 ・ 嚥下評価可能 P T : 1名	約30名
4F 整形外科 外科	3名	－	整形外科疾患 外科疾患の 術前・後 がん	・ 整形カンファ：週1回 ・ 嚥下評価可能PT1名	約30名
4F 小児科	PT全員 (回復期 専従PTは 除く)		呼吸器疾患 障害児	・ 月齢児～就学児が主。 ・ 県内の小児呼吸リハの実施施設内でも最も多い。 ・ 小児呼吸器疾患は処方された当日の介入 ・ 重症心身障害者への N P P V 導入入院に対応。 (対応セラピスト 4 名)	年間 100件 前後

2023年度 急性期内科・循環器科(2中)



2023年度 急性期外科・整形外科

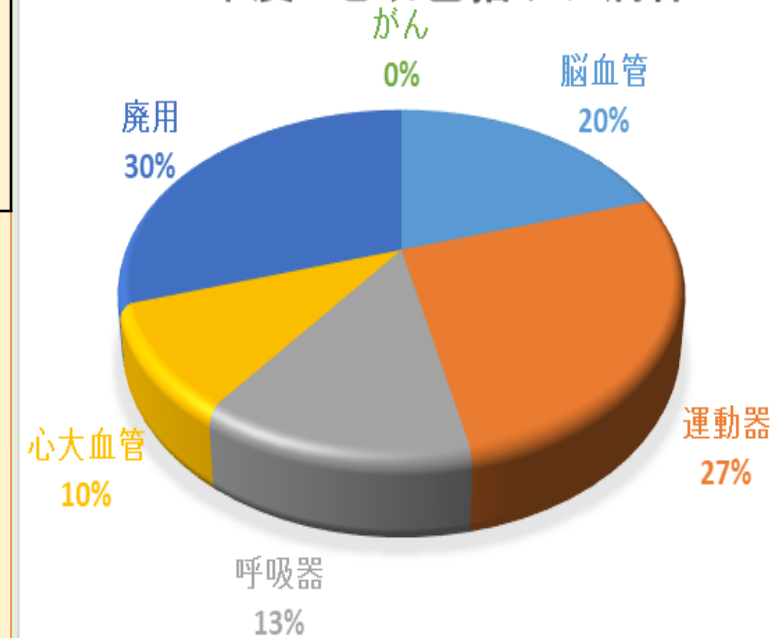


- ・ 処方から介入までの期間：処方当日または翌日には介入を開始

地域包括ケア病棟

	担当数		対象疾患	特徴	患者数 (月平均)
	専任	外来 兼任			
3F 地域包括ケア 病棟	4名	-	腎疾患、糖尿病 呼吸器疾患	・研修医が全員いる。 ・呼吸リハの依頼が多い。 ・DMコントロール入院。 ・ディルームに平行棒があり、 病棟内リハが円滑に可能。 ・嚥下評価可能 P T : 3名	約30名

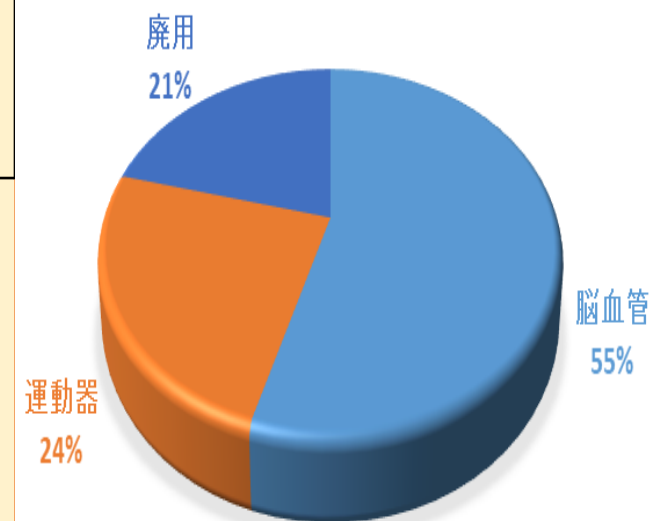
2023年度 地域包括ケア病棟



回復期リハ病棟

	担当数		対象疾患	特徴	備考
	専従	専任兼任			
2西 回復期 リハ 病棟	PT : 4 OT : 2 ST : 1	PT : 4 OT : 2 ST : 1	脳血管 整形疾患 廃用	回復期リハビリテーション入院料 1 365日リハビリ提供 月曜日：整形Dr.を交えた回診実施 火曜日：装具診の進行担当・判定会 季節ごとの行事 （運動会、クリスマス会）を実施。 病棟内での勉強会や症例検討会。 リハスタッフ間での症例検討会。	・ <u>平均単位数</u> （一人当たり） ・ 平日：5.3 ・ 休日：2.4 ・ <u>H/E数</u> 月5.3件 ・ <u>在宅復帰率</u> 94.1% ・ <u>適応外率</u> 14.2%

2023年度 回復期病棟(2西)



病棟回診風景



外来リハ業務

病院と診療所で機能分化しています。

病院では脳血管疾患、発達障害児・者のフォローを、診療所では運動器疾患のフォローをしています。

地域リハ資源との連携強化をテーマに取り組みを開始。

小児リハの取り組み

主に外来での対応を行っており他機関・病院と連携しながらリハビリを行っている

《取り組み内容》

- ①カンファレンス
- ②装具外来
- ③車椅子外来
- ④定例学習会：外部にも呼びかけ
- ⑤治療検討会
- ⑥特別支援学校等との連絡会
- ⑦地域事業所からの見学対応



小児リハ風景

病院での外来リハ

専従スタッフ

PT：3名
OT：0名
(非常勤1)

兼任スタッフ

PT：2名
OT：2名
ST：3名

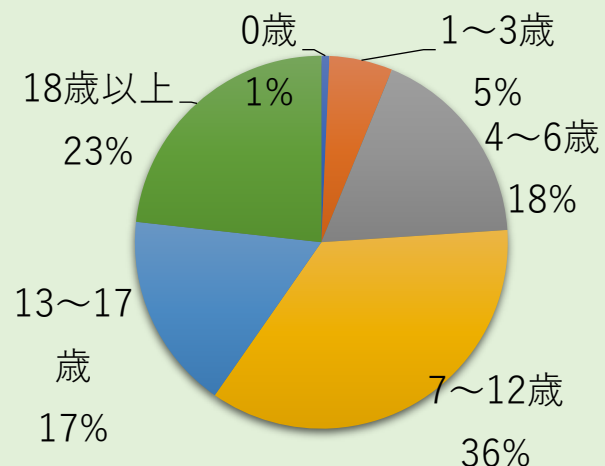
小児領域

- 症例数：

PT	約170名
OT	約80名
ST	約20名

- 対象疾患：

脳性麻痺を中心とした、先天性・後天性脳神経疾患が中心。



成人領域

- 症例数：

PT	約40名
OT	約10名
ST	約30名

- 対象疾患：

脳血管障害後遺症を中心。

- 特徴：

長期で外来へ通院している患者様が多い。
介護保険サービスへの移行が少ない。

病院での外来リハ

業務内容

- 個別リハ予約制
- リハビリ診察あり安心してリハ介入できます
- 装具外来/車椅子外来のマネジメント業務（右図）
- 学校との連携
- 地域事業所連携
- 保護者連携

成人領域

装具

外来

- 毎週火曜日 13:30～15:00
- 入院、外来患者の装具作製・修理対応

診断書

外来

- 身障手帳、障害者年金、各種保険の診断書作成に必要な身体計測実施

小児領域

装具

外来

- 隔週金曜日 15:30～
- 装具の作製・修理に対応。
- 他施設のセラピストが来院することもあり。

車椅子

外来

- 隔週火曜日 12:30～
- 多業者が出入り。
- 車椅子、座位保持装置などを作製

県内でも数少ない車椅子を作製できる病院の1つです

ふたわ診療所での外来リハ

スタッフ

PT：2名
助手：1名

対象患者

- 外来の整形外科疾患の方
- 処方数ベスト5

1位	頚椎症
2位	変形性膝関節症
3位	肩関節周囲炎
4位	脊柱管狭窄症 腰痛症
5位	橈骨遠位端骨折

業務紹介

- 個別リハは**完全予約制**
- 頻度が少ないため、自主トレを指導するなど工夫している。
- 物理療法のための患者様は診療時間内に来院でき、主に助手が対応
- 2週に1回整形外科Dr.とカンファレンス開催。
- **ウィメンズリハ**を開始。

